Flair

Magazine of Teikyo Alternative Life

［フレア］

vol.113 SPRING 2019 MARCH

TAKE FREE

TEIKYO

PRESENT

アンケートに
回答した方の中から抽選で
Amazonギフト券
5,000円分
プレゼント！

詳しくはP23にて

エンジニアガール&ボーイ。

ときどき

#ロボラボ #帝京フォーミュラプロジェクト #宇宙システム研究会 #スカプロ #ガールズ名鑑



© Flair

Cover Story
No.04
Nao Arai
—

photo: Kenji Nakata
styling: Kotomi Sato
hair&make: Narumi Tsukuba
text: Kentaro Matsui



変身裏話。



今回変身したのは
医療技術学部臨床検査学科1年 新井名央さん

宇宙っぽい格好に変身しましたね？

長野県飯田市にある実家の近くにプラネタリウムがあり、子どものころに家族や友だちと何度も通ったほど、宇宙や星は好きなんです。飯田市の隣の阿智村は星空観察で有名なところ。私も行ったことがありますが、見上げる星空が本当にきれい！ぜひ一度、見に来てほしいです。

春には2年生に。したいことは？

先輩たちから親しくしてもらっています。テスト前には、対策や注意点を教えてもらったり、参考書をいただいたり。私も後輩ができたら、親しく接したいです。それから、失敗してもいいから、何事にも積極的に挑戦すること。今回の表紙撮影もそうですが、「違う自分」が発見でき、人とのつながりも広がるので。

将来はどんな仕事に就きたい？

実は、身内にがんで亡くなった人がいます。血液や細胞を分析してがんの早期発見に努める臨床検査技師になって、日本の死因1位でもあるがん患者さんの治療に携わり、少しでも技能を役立てたいです。いずれは両親の暮らす長野に戻って働きたいと思っています。

詳しい情報はコチラ！



今回の表紙撮影場所
東京ドームシティ テンキュー
宇宙ミュージアムTeNQ

「宇宙を『感動する』をコンセプトに、星空や宇宙空間、最先端の科学や宇宙からインスピレーションを受けたカルチャーを楽しめるエンタテインメントミュージアム。見る、触れる、想像する、9つのエリアで宇宙を体感できる演出が満載。

あの人のハタチ。
My Youth

photo: Takeshi Abe
text: Takashi Sano

name
かどいよしのぶ
門井慶喜さん

job
作家

Profile

1971年生まれ。同志社大学文学部卒業。2003年、オール讀物推理小説新人賞の『キッドナッパーズ』で文壇デビュー。2018年、『銀河鉄道の父』で第158回直木賞を受賞。

Information

2019年1月にNHK「正月時代劇」にてテレビドラマ化された『家康、江戸を建てる』（祥伝社）の関連書籍である最新作『徳川家康の江戸プロジェクト』（祥伝社新書）が絶賛発売中。



「あのころ、原稿は一枚も書きませんでしたが、作家になる確信はありました。」

昨年、『銀河鉄道の父』で直木賞を受賞した今注目の作家・門井慶喜さん。かつて宇都宮キャンパスの職員として働いていたこともあり、帝京大学とは深い縁がある。そんな門井さんのハタチとは？

「人様に言えるような学生生活ではなかったんですが、特に学業は…」

当時、京都の大学で日本史を専攻していた門井さん。専門科目以外の勉強には興味が持てなかったそう。

「史学は、時代を問わず勉強しました。教室では一番前の席に挑戦的に座って、先生の授業を聞いていました。それ以外の科目は全く…」と苦笑い。

歴史と並んで専心したのは読書。食費を削ってまでも本を買うことも。幸田露伴の全集を生活費2ヵ月分を費やし購入し、パンとマーガリンだけで過ごしたこともあった。

そんなハタチの本の虫が夢見たのは、作家になることだった。

「『作家になる』に決まっている」と思っていました。自信というか、確信ですよね。人生のモラトリアムが卒業までの2年しかないことは僕でもわかるので、『将来何になるんだろう』ということは考える。その時に、僕がなれるのは作家しかないと思った」

だが、驚くことに学生時代、原稿は一枚も書いたことがなかったと言う。「ハタチの勘違い」と自嘲気味に語るが、大学卒業後、宇都宮に帰郷して帝京大学で働いてからは、寝る間を惜しんで執筆。苦節10年で作家デビューを飾り、夢を叶えた。

インタビュー最後の質問として、青春時代を読書に費やした門井さんに、ハタチの若者におすすめの一冊をお聞きした。しばらく熟考して返ってきた答えは「職業別電話帳」！

何ともユニークだ。

「世の中にある職業を知る！という点では、僕はあれに勝るものはないと思います。まだまだ自分が知らない仕事が存在して、それで生活している人がいる。もちろん通読する必要はまったくありませんが、いろんな職業があって、社会的に認知されているということがわかっておもしろい。これからの将来に向かって、勇気がわきます」

まだまだ数が少ない理工系の女の子たち。でも宇都宮キャンパスに通う
彼女たちは、そんなことは気にもせず、自分の道をひた走っている。
そのまぶしい姿、追いかけました。（もちろん男の子も！）

photo: Mizuho Takamura(p04-p05), Mina Soma(p06-p11) text: Satoko Nakano illustration: Sena Doi

特集 エンジニアガール&ボーイ。

ときどき



宇都宮キャンパスの学生を徹底取材！

理

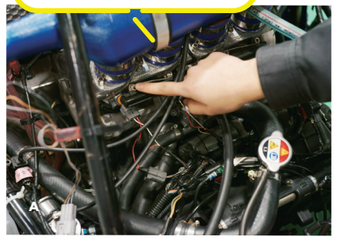
工学部と、医療技術学部・経済学部の一部の学科が集まる宇都宮キャンパスの広さは、なんと東京ドーム6個分。まるで海外の大学のようにゆったりとした敷地の中に、模型飛行機用の飛行場や、精密機械が数多く揃う実習工場など、学生が思い切り専門分野にのめりこめる環境が整っている。

「好きなこと」を選んで入学してきた学生の多くは、学科の授業が終わったあともキャンパスに残って精力的に活動。例えば『帝京フォーミュラプロジェクト』のメンバーは、1台のレーシングマシンを作り上げて全日本大会での好成績をめざしている。速度や走行性能だけでなく、デザインから製作コストなどの細部に至るまで審査されるため、チーム一丸となってこの大会のために1年間を費やすのだ。

また、2015年に発足した『ロボラボ』は、世界的な自律型ロボットコンテスト・World Robot Olympiad (WRO) の日本大会で3年連続優勝という輝かしい成績を残すなどの活躍を見せているサークルだ。世界大会に出場したり、学会発表を重ねたりするなかで、学生たちは多くの経験を積んでいる。これらのサークルでは、宇都宮ボーイと一緒にガールも奮闘中だ。

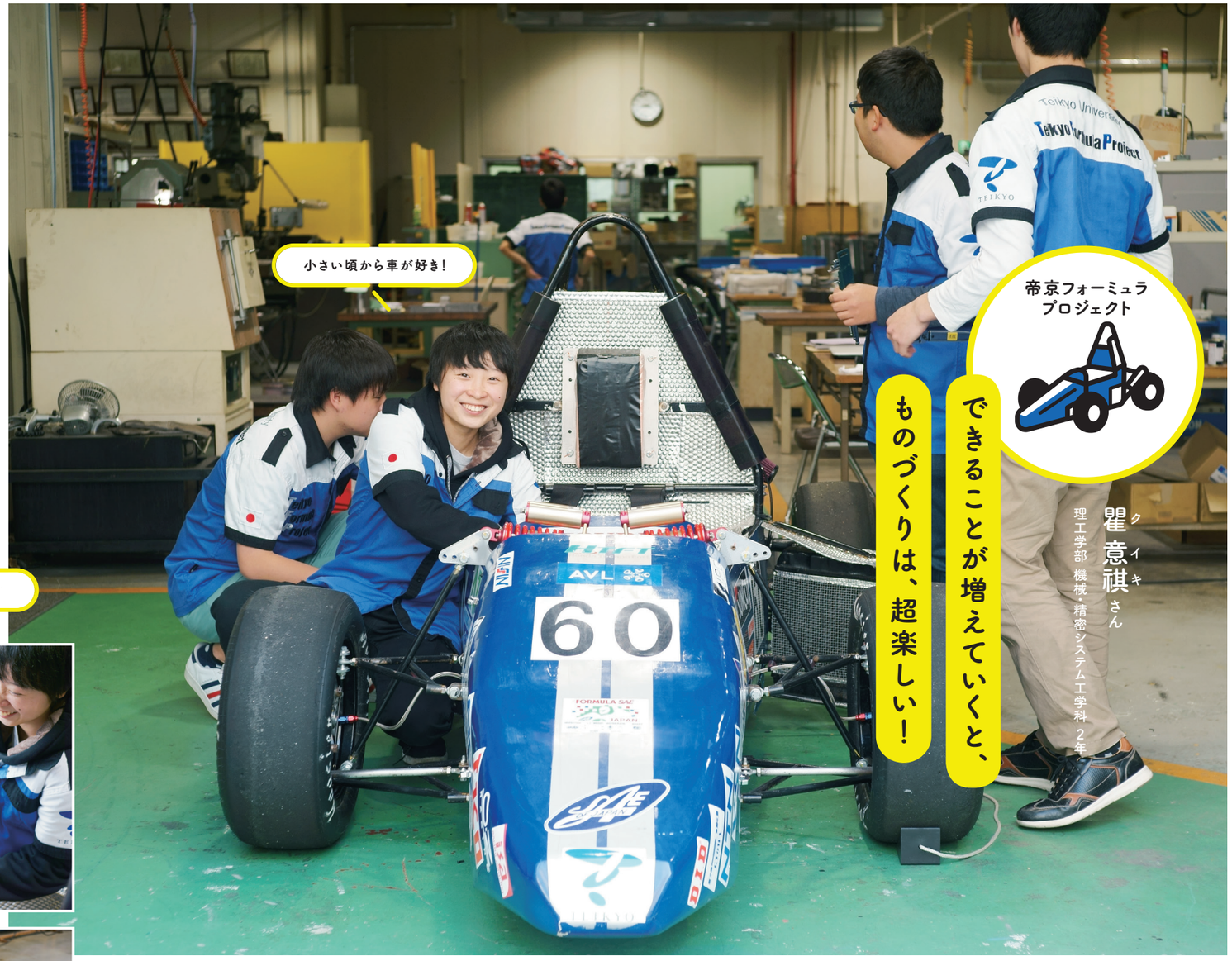
その他、人力飛行機を製作し鳥人間コンテストへの出場をめざす『SKY PROJECT（略称スカプロ）』や、人工衛星を作ってロケットへの搭載をめざしたり自作の小型ロケットを打ち上げたりする『宇宙システム研究会』のような、個性的な活動も多数。突き詰めれば、やがて未来が見えてくる。ガールもボーイも、一生懸命な背中は美しい！

昼も夜も手を動かしてます





A. 瞿さんは昨年、車体のサスペンションの製作などを担当。**B.**「旋盤」という工作機械を使い、部品を加工する。さらに高度な工作機械「フライス盤」を操作できる学生は、瞿さんだけなのだそう。



みんな仲が良いです





C. 部の雰囲気は良好。車やバイクなど、同じ趣味の仲間がたくさんいることも楽しいという。**D.** 昨年の大会では、ドライバーも務めた瞿さん。車体だけではなく、ドライバーも重要な要素の1つ。

「楽しいです。ものづくりは、超楽しい」

そう笑顔で答える瞿さんは、『帝京フォーミュラプロジェクト』の紅一点。手を動かしてものをつくることが好きで、活動場所の実習工場にある工作機械を積極的に使っては、日々技術力を磨いている。

「フォーミュラカーの課題は、車両の軽量化です。ある程度は余分な肉を落とせばいいのですが、さらに上をめざそうとすると、部品の強度との兼ね合いがあって難しい。大会までに、どの程度絞れるか…」

昨年の全日本大会での成績は、92チーム中37位。次回は20位以内をめざしたいと話すが、強豪校が名を連ねるなか、かなり高い目標であることは間違いない。でも「大会前じゃなくても、毎日実習工場にいる」と言うほど、瞿さんにとっては熱中できる活動。〝好き〟が実を結ぶ日も、そう遠くはないはずだ。

DATA

CHART:

熱中度 ★★★★★

技術力向上度 ★★★★★

ワクワク度 ★★★★★

PROFILE:

中国・上海出身。高校生の時に旅行で来日し、日本食のおいしさに感動したことがきっかけで留学を前向きに考え始める。小さい頃から機械、特に車が好きで、先進的な日本の機械業界に魅了されたことも留学の理由に。

宇都宮ガールズ名鑑

エンジニアガールだけじゃない。
夢中になれることを持ち、「好き」をずっと忘れない。
そんな、パワフルな宇都宮ガールたちをご紹介します!

QUESTION

1 どうしてこの学科を選んだの? 2 今、頑張っていることは?
3 どんなことが楽しい? 4 宇都宮キャンパスの好きなところは? 5 将来の夢は?



GIRL 01:
金原 祐里奈さん
DEPARTMENT:
理工学部 バイオサイエンス学科 2年

1 生物の実験がおもしろかったから。2 副部長を務める生物研究部で、TeikyoSat（P11参照）に載せる細胞性粘菌の研究。3 地道な作業なので辛いこともあるが、先生から意見をもらうとやる気が出る。4 先生との距離が近い。5 中学校理科の教員。**MEMO:** おばあちゃんっ子で、よく畑仕事を手伝っていた。

サイエンス度 ★★★★★
コツコツ度 ★★★★★
チームワーク度 ★★★★★



GIRL 02:
町井 愛さん
DEPARTMENT:
経済学部 地域経済学科 1年

1 地元・宇都宮で就職して地域のために働きたいから。2 防災ボランティアサークル『ERSU』や、消防団の活動。3 見えないところで頑張る人たちに支えられて生きていると実感するなど、ためになることが多い。4 きれいで、設備が充実している。5 地元のために何ができるか考え中。**MEMO:** 兄は消防士。

宇都宮度 ★★★★★
アクティブ度 ★★★★★
地域貢献度 ★★★★★



GIRL 03:
笠原 胡桃さん
DEPARTMENT:
経済学部 地域経済学科 1年

1 町おこしや町づくりに興味があったから。2 映画制作部で、演技を中心に担当。3 脚本、演技、撮影、編集など、映画を1から自分たちで作れるところ。4 自然が豊か。学内にある古墳は撮影場所にもなる。5 諸々経験して決める予定。**MEMO:** 学友会スタッフとしても活動。豚汁配布企画は盛況だった。

チャレンジ度 ★★★★★
新発見度 ★★★★★
企画力度 ★★★★★



GIRL 04:
相場 桃佳さん
DEPARTMENT:
医療技術学部 柔道整復学科 3年

1 アスレティックトレーナーになりたかったから。2 学科の実習や、部長を務める帝京大学トレーナーチームの活動。3 レントゲンも撮らず、体表から骨折や脱臼を判断できる柔道整復師はすごい。経験してみて楽しいと感じた。4 自然が豊か。5 今は柔道整復師をめざしている。**MEMO:** 水泳と柔道経験者。

実践度 ★★★★★
共感力度 ★★★★★
パワフル度 ★★★★★



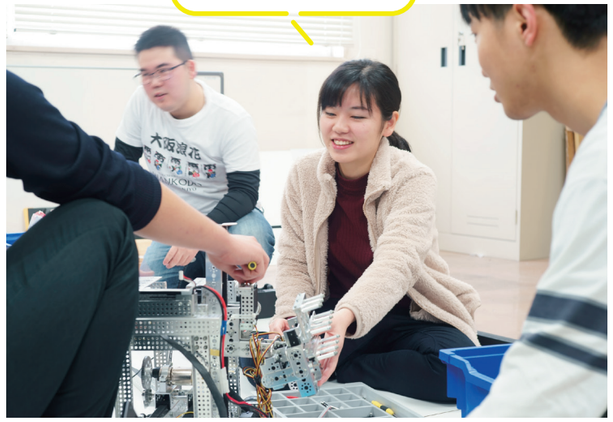
GIRL 05:
篠原 千佳さん
DEPARTMENT:
理工学部 バイオサイエンス学科 2年

1 チョコレートに含まれるたんぱく質などをテーマにした、古賀仁一郎先生の研究がおもしろそうだったから。2 留学生が日常生活で困らないよう支援するチューター活動。3 留学生から母国の話を聞くのが楽しい。4 広い食堂。5 今は食品などの開発に興味がある。**MEMO:** 楽しかった実験はカエルの解剖。

マニアック度 ★★★★★
グローバル度 ★★★★★
サポート力度 ★★★★★



昨年よりもワンランク上へ



昨年は中級者向けのロボットで参加した玉懸さん。今年は、上級者向けのロボットで参戦する予定。

パソコン上でプログラミングを行い、ロボットを動かしているロボットサークル。授業でもプログラミングを学ぶ玉懸さんだが「画面上で完結するものがほとんどなので、ロボットが動くと結果が目に見えておもしろい」と、この活動の魅力を語る。しかし、プログラミングは繊細な作業。少しずれただけでも、ロボットは思うように動いてくれない。「練習でうまくいっても日によって誤差が出ることがあり、大会の時は本番まで気が抜けないです」と、緊張がつきまとうことも教えてくれた。

もちろん、主役となるロボットも自分たちで製作。「ずっとパソコンと向き合っているより、時々ものづくりをするほうが向いているかもしれません」と、自身の中の新たな可能性についても気づいたようだ。

DATA

PROFILE: 「パソコンが操れたらかっこいい」という憧れから、情報電子工学科に入学。新入生歓迎会で、遠隔操作ができるタイヤ付きのカピバラ人形ロボットのかわいさに惹かれ、ロボラボに入部。その熱心な活動ぶりに、先輩からの期待も大きい。空き時間は、友だちとよく食堂で過ごしている。

CHART:

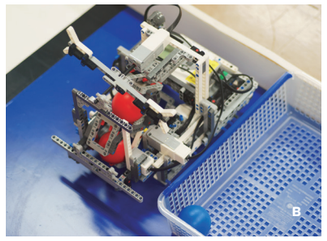
メカニック度 ★★★★★

臨機応変度 ★★★★★

チームワーク度 ★★★★★

先輩たちの背中を追いかけて





A. 玉懸さんがロボラボに入るきっかけとなった遠隔操作できるカピバラ人形ロボット。**B.** 前回大会で使用した中級者向けのロボット。スタート後、赤2個、青2個のボールを拾って色別のカゴに入れる。

UTSUNOMIYA GIRLS FILE 2

QUESTION

1 どうしてこの学科を選んだの? 2 今、頑張っていることは?
3 どんなことが楽しい? 4 宇都宮キャンパスの好きなところは? 5 将来の夢は?



GIRL 06:
長崎 茉依さん
DEPARTMENT:
理工学部 航空宇宙工学科
航空宇宙工学コース 3年

1 宇宙、地球、環境など未知なるものに興味があった。2 無人飛行機の安定性向上のための研究。3 メキシコの大学に2週間短期留学をして、現地の学生の積極性に刺激を受けた。4 自然が豊か。5 飛行機の運航管理の仕事などに憧れている。MEMO: 吹奏楽同好会『Zizz』元部長。担当はトランペット。

冒険度 ★★★★★
アクティブ度 ★★★★★
グローバル度 ★★★★★



GIRL 07:
丹野 楓さん
DEPARTMENT:
理工学部 航空宇宙工学科
航空宇宙工学コース 2年

1 人工衛星やロケットの技術支援がしたいと思ったから。2 知らないことを知るのが楽しいので、興味の幅を狭めず学んでいる。3 航空機好きの友だちにその魅力を聞くうちにおもしろくなり、夢も変わった。4 現場経験の豊かな先生が多くいる。5 航空機の整備士。MEMO: 机に向かうより体を動かすほうが好き。

宇宙好き度 ★★★★★
共感力度 ★★★★★
ガッツ度 ★★★★★



GIRL08:
遠藤 舞さん
DEPARTMENT:
理工学部 航空宇宙工学科
ヘリパイロットコース 2年

1 パイロットに憧れて。2 航空法やシステムのこと、事故を起こさないための勉強のほか、茨城県の訓練所で操縦技術を磨いている。3 もちろん、ヘリコプターに乗ること。4 先生に何でも相談できる。5 消防防災ヘリコプターのパイロット。MEMO: 昨年、自家用ヘリコプターのライセンスを1種類取得。

ロマン度 ★★★★★
実践度 ★★★★★
テクニカル度 ★★★★★



GIRL 09:
金子 さくらさん
DEPARTMENT:
医療技術学部 柔道整復学科 2年

1 スポーツにかかわる仕事がしたかった。2 国際学生寮で生活しながら、外国人の寮生をサポートするレジデント・アシスタントを務めている。3 寮でイベントを企画し、多くの国の学生と仲良くなった。4 寮の友達と実技の復習ができる。5 柔道整復師の資格を活かしたい。MEMO: バスケットボール経験者。

グローバル度 ★★★★★
企画力度 ★★★★★
まっすぐ度 ★★★★★



GIRL 10:
杭 陳琳さん
DEPARTMENT:
理工学部 情報電子工学科 3年

1 �far本一裕先生の、地球環境の研究に興味を持ったから。2 後輩の授業支援をするティーチング・アシスタントを昨年務めた。3 日本の後輩と接して、語学力がアップ。中国人との考え方の違いもおもしろかった。4 静かで勉強しやすい。5 大学院進学。MEMO: 好きな食堂メニューはラーメンとオムライス。

指導力度 ★★★★★
多様性度 ★★★★★
グルメ度 ★★★★★

スカイプロジェクト



飛行機を見ているだけで、ワクワクするんです。

茂木 智哉さん
理工学部 航空宇宙工学科
航空宇宙工学コース 2年



将来は、航空整備士になりたいと話す茂木さん。
航空会社から内定を勝ち取った先輩たちの後を追う。

機体を見るだけで満たされる」と話すほど、飛行機好きな茂木さん。1年時はスカプロで翼の製作を担当していたが、今は部員数の減少により「できることはみんなでやる」スタイルに変化している。「昨年は機体が完成せず、鳥人間コンテストの応募書類も提出できなかったので、今年こそは…！」と力を込めるが、とにかく人手不足が深刻。引退した優しい先輩たちが「仕方ないな」と加勢してくれて、なんとか頑張ることができている。

茂木さん曰く「製作過程では辛いこともあるけど、完成した機体を見るとしみじみうれしい」。大学のうちから、チームでものづくりを行える環境は貴重だ。今年は鳥人間コンテストへの出場と、一緒に空をめざす仲間が増えることを願っている。

DATA

CHART:

部員募集度 ★★★★★

感動度 ★★★★★

飛行機好き度 ★★★★★

PROFILE:

幼少期に映画『紅の豚』を見て、空の自由さに憧れて以来、飛行機に夢中になる。航空宇宙工学科に入学後にスカプロの存在を知り「高校時代にテレビで見てチャレンジしてみたいと思っていた、鳥人間コンテストをめざせる！」と思い、即入部した。

受け継いだ機体を磨く



B. 翼の表面を保護するためのフィルムを貼る。アイロンでなぞると気持ちいいくらいピンとする。



A. スカプロに代々伝わる機体の名前は「赤翡翠」。

地面より、空を見るほうが好きだったから。

太田 雅貴さん
理工学部 航空宇宙工学科
航空宇宙工学コース 3年

宇宙システム研究会



空気の汚れや手の脂などで腐食しないよう、クリーンルームで衛星を組み立てる。

高校時代、野球部の練習を終えて帰ってくると、カバンを枕にして星を見てから家に入るのが習慣だったという太田さん。「野球の練習中って、地面を見るか、空を見るかのどちらかじゃないですか。僕は、空を見ているほうがいいなと思ったんですよね」と、宇宙を専門に選んだ素敵な理由を教えてくれた。

宇宙システム研究会で、太田さんは衛星構体の設計を担当している。「衛星が口ケットに相乗りする時に必要な条件をクリアすべく、何度も実験を重ねてようやく課題が解決した時が一番うれしい」と笑顔を見せた。

「思えば、自分が選んできたのはいつも『あまり人がやっていないこと』でした」と話す彼の夢は、宇宙関連の仕事に就くこと。研究会で身につけた実践力で、この分野をさらに盛り上げてくれるだろう。

夢をのせて、宇宙へ





A. これが開発中の衛星『TeikyoSat-4』。「細胞性粘菌」と呼ばれる菌を載せ、宇宙空間での変化を観察する。B. 活動のベースとなる部屋では、いつも誰かしらが製作に励んでいる。

DATA

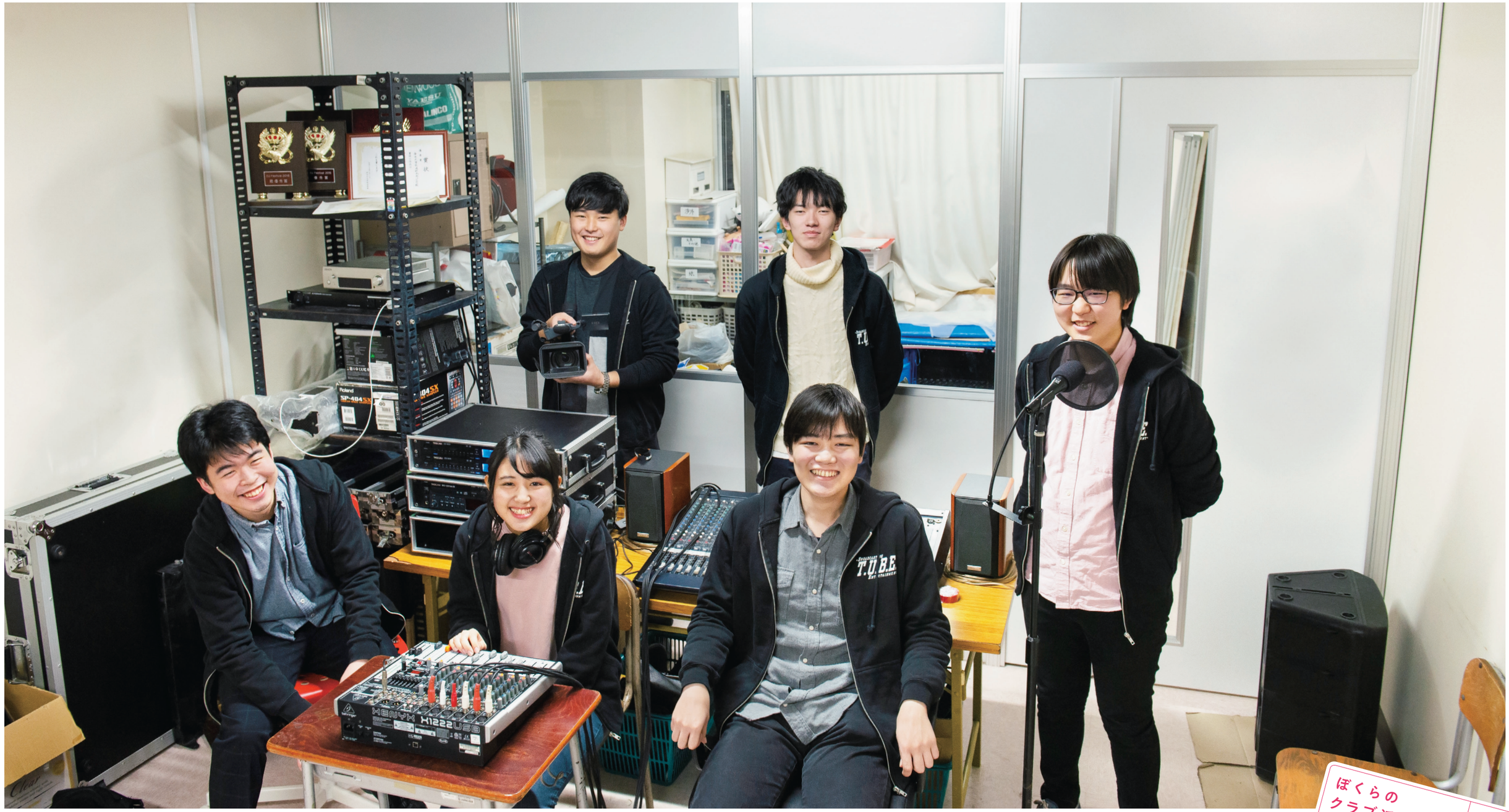
PROFILE: 野球と宇宙が好きで、進学の際に後者を選んだ。大工であるお祖父様の影響で、ものづくりが好き。「在学中に技術力を上げたい」と、宇宙システム研究会に入部。授業とアルバイトの時間以外はほぼ部室にいる。ちなみに高校時代は外野手だった。

CHART:

ロマン度 ★★★★★

緻密度 ★★★★★

華やか度 ★★★★★



ぼくらのクラブ活動。 file: 03

photo: Jun Nakagawa text: Naomi Haga

club

放送研究会 T.U.B.E.

place

八王子キャンパス

data

1971年に結成した歴史ある放送研究会。年3回行われる番組（作品）発表会に向け、企画、アナウンス、撮影、音響などの担当に分かれ、本格的な機材を使い映像・音声作品を制作している。

発表会に向けて練習の日々 他大学との交流も刺激に。

ミュージックビデオやショートドラマ、音声のみのサウンドドラマ、ラジオDJなど、通称「番組」と呼ぶ映像・音声作品の制作に熱中しているのが、放送研究会「T.U.B.E.（チューブ）」だ。1971年に結成した歴史ある団体で、主に年3回の番組発表会に向けて、それぞれのメンバーが日々技術を磨いている。T.U.B.E.は、役者や番組発表会などの司会を担当する「アナウンス局」、企画の進行やディレクターを担当する「企画局」、音響機材の操作や録音などを行う「機材局」、撮影や映像編集を行う「映像局」の4つの〝局〟で構成されており、週2回の活動では全体ミーティングで情報共有した後、局ごとに分かれての練習を行っているという。

会長の秋山大地さんは、中学・高校時代は演劇部に所属。大学でも演劇部に入ることを考えたが、「もう少し違う形で演技に携わりたい」と、T.U.B.E.に入部を決めた。現在はアナウンス局の一員となり、役者としての作品出演やイベントの司会などを担当。日々の活動では発声練習や台本の読み合わせなどを通して演技力を磨いているという。秋山さんに普段の練習の様子を聞くと「発表会が近いときはみんな真面目モードになりますけど、普段は雑談もしながら和やかな雰囲気でやっていますよ」と笑顔。発表会に向けて気合いが入るのは、他大学の放送研究会の学生を招いて自分たちの制作した作品を見てもらえるからだ。意見交換をしたり講評を次の作品作りの参考にしたりと、「他大学との交流が刺激になる」と話す。

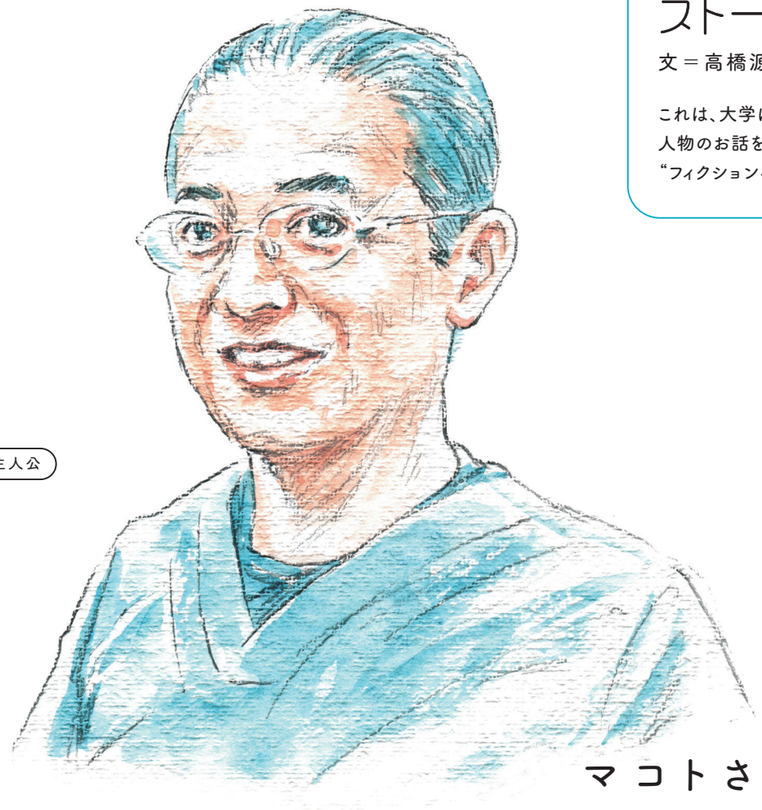
将来的に映像関係の道に進みたいと考えているメンバーもおり、「実際に放送関係やエンタメ関係の仕事に進んだ卒業生も多いんですよ」と秋山さん。未来の大物俳優、凄腕の映像クリエイターが、この中にもいるのかもしれない。

早くも初夏の番組発表会に向けて新しい企画を進行中。今のところ制作した作品は発表会のみで公開しており、彼らの作品が観られる機会は秋の大学祭のみ。今年はどんな作品が上映されるのか、期待したい。

帝京ストーリー

文＝高橋源一郎

これは、大学にまつわる
人物のお話を元にした、
“フィクション小説”です。



今回の主人公

福岡医療技術学部
理学療法学科 教授
関 誠 さん

1987年医療法人聖十字会 西日本リハビリテーション学院卒業。2001年より帝京大学福岡医療技術専門学校（現・帝京大学福岡医療技術学部）の教員として学生の育成に携わる。同年に帝京平成大学 大学院情報学研究科情報学専攻修士課程入学、2004年に情報学修士取得。

マコトさん

ぼくがビョーキになったのはお正月だった。その前からなんだかカゼをひいたみたいで、熱くて、ダルくて、なにも食べたくないので、ママは「まあ珍しいわね」っていったし、お兄ちゃんも、「じゃあ、キイちゃんのプリン、ぼくにちょうだい」っていったりした。そこからのことはよく覚えていなくて、おゾウニを食べようとしたら、カマボコが口から落ちたんだ。ぼくはびっくりして「あれ？」っていおうとしたら、もうそのときには、口もよく動かなくて、「あああ」っていっただけで、後はよく覚えていないんだ。気がついたときには、病院のベッドの中で、あれ、よく寝たなあと思ったけど、実はカマボコを落としてから十日たっていた。みんなにあとから聞いた話なんだけど、パパとママは慌ててぼくを病院に連れてゆき、すぐに、小児集中治療室っていうところに入れられた。先生は、「菌が小脳に入りこんで炎症を起こしています。助からないかもしれません。助かっても障害が残る可能性が高いでしょう」っていったんだって。ぼくは死ななかった。でも、なにもしゃべれず、体を動かすこともほとんどできなかった。

誰かの優しい手がぼくを撫でていて「あれ、誰だろう？」って思ったけどことばはでないんだ。ぼくが口をパクパクしていると、その誰かはぼくの耳もとで「無理にしゃべらなくていいんだよ、キイちゃん。いま君の神経はお休みしていて、音を出す筋肉が動かないだけなんだよ。でも、ぼくはもうすぐしゃべれると思うよ。だから焦らないでね」ってちっちゃな声でいった。そう、それが「マコトさん」だったんだ。

「マコトさん」は、本名が関誠で理学療法士って仕事をしている。もちろん、ふだんはぼくのベッドに来なくて、ぼくが「マコトさん」のところに行って「リハビリ」をするんだけど、その時は、わざわざ会いに来てくれたんだ。どんな子どもだろうってね。

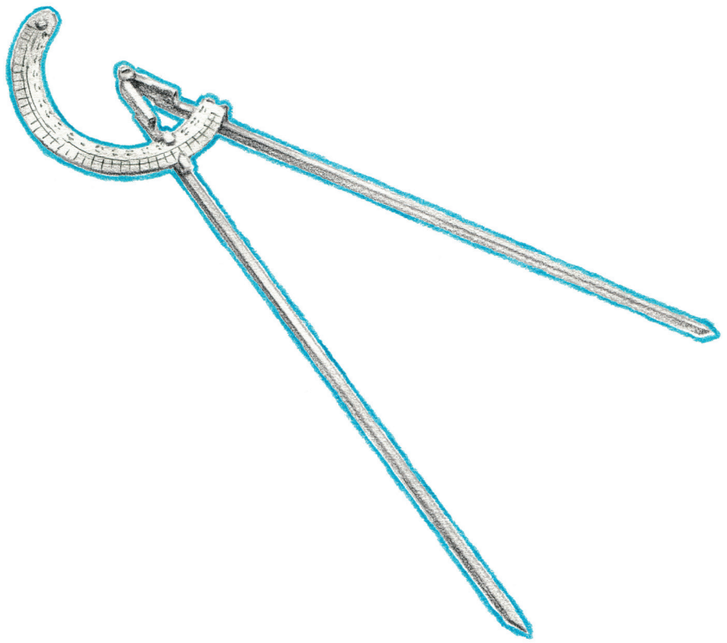
「ぼくの家は果物屋さんだったんだよ。だからいつもリンゴとかパイナップルとかイチゴとかキウイとかスイカに囲まれてた」

そんなふうにしゃべりながら、マコトさんはぼくの体をマッサージしたり、起こしてくれたり、曲げたり、たとえばボールがたくさん入ったケースの中に入れてくれたり、いろんなことをしてくれる。でも、ぼくがいちばん好きなのはマコトさんに優しく触られること。まるで、ママが触るみたいに優しくて、ぼくはなんだかとても安心するんだ。

書いたのはこんな人！



たかはし・げんいちろう／小説家、文学者。1951年、広島県生まれ。81年『さようなら、ギャングたち』で群像新人賞優秀作を受賞しデビュー。『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞受賞。昨年8月に『今夜はひとりぼっちかい？日本文学盛衰史　戦後文学篇』を刊行。



「キイちゃんのお父さんは優しい人だね。でも、ぼくのお父さんもすごく優しい人だった。いまは認知症になって、施設に入っているけど、周りから、いい人だって、優しいって、いわれるんだ。お父さんもずっと果物に囲まれていて、それが幸せそうだった。そして、リンゴでもイチゴでもミカンでも、みんなとても優しく、優しく触るんだ。『マコト、果物たちは、こちらが優しく接すると、いい味になってくれるんだよ。乱暴に触ると、すぐに味が落ちる。人間と一緒なんだ』ってね」。すると、ぼくも果物なのかな。そう思うとなんだかオカシクなって、クスリと笑った。すると、「マコトさん」は「ああ、キイちゃん、笑ったねえ！　よかった、よかった」っていってくれたんだ。

コトバをしゃべれるようになったときのことはよく覚えている。最初に「ア」ってことばが、次に「イ」がしゃべれた。ウソみたいに、一つ一つの音をしゃべることができた。すると、「マコトさん」は、「ほら、キイちゃんの神経がどんどんつながっていってる。もう大丈夫。なにかいいたいことばをいってごらん」っていった。だから、ぼくは、こういったんだ。「マコトさん、ありがと」って。

「マコトさん」の手がぼくを撫でてる。そうやって、皮膚の下にあるぼくの「神経」をつないでいるんだと思う。なんだか、そんな気がする。そうやって、一回、バラバラになったぼくを、「マコトさん」は戻してくれるんだ。「マコトさん」のことばが聞こえてくる。

「ぼくは、いま帝京大学の理学療法学科というところで学生たちを教えているんだ。理学療法士ってものになって、ある病院の整形外科で十四年勤めた頃、大学で教えないかって誘われたんだよ。ぼくに人を教えることなんかできるかなって思ったのに、もう十七年もたったんだねえ。どうして、こんなことができるんだろうって時々思うんだけど、ぼくは学生さんを教えているんじゃなくて、理学療法士としてリハビリをしているのかもしれないね。学びたい、勉強したい、知りたいっていう強張った気持ちを楽にしてあげて、自分で何でも学べるように、ね。みんな一緒なんじゃないかなって、ぼくは思うんだ。ぼくが、キイちゃんが元みたいに走ったり、泳いだり、なんでもできるようになるって信じてるのは、人間には、元々、自分で自分を治す力があるからなんだ。ぼくはそれを手伝って引き出してあげるだけ。でも、教育もそういうものなのかも。あれ、キイちゃん、立てるじゃないか！」

卒業生のいるところ。 第3回

name
廣田大輔さん

job
第60次南極地域観測隊員

place
国立極地研究所・昭和基地（南極）

医学部医学科卒業の廣田大輔さん。研修医時代から南極地域観測隊に憧れ、医師として昭和基地で働きたいと、総合診療ERセンターで経験を積み、念願の観測隊員に選ばれ、南極へ。過酷な環境で観測業務を行う隊員の健康管理や治療にあたっています。夢であったオーロラを見ながら。



医学・医療の力で昭和基地の隊員を支えています！

研修医・大学院時代に、南極地域観測隊に憧れを。

開業医である父親の影響もあり、帝京中学・高校で学ぶなかで医学部への進学を決意。学生時代は講義ノートをしっかりと取り、予習・復習を心がけました。卒業後は医学部附属病院の内科で研修し、大学院へ。教わった寺本民生先生から「南極地域観測隊の医師になりたかった」という話を伺い、観測隊の仕事に惹かれるようになりました。

総合医療ERセンターで、貴重な経験を重ねました。

2011年から医学部附属病院救急科の総合診療ERセンターに勤務。さまざまな病気やケガの治療経験が南極でも役立つと考えながら、努めてきました。同時に、国立極地研究所南極観測センターが公募する南極地域観測隊員に応募し、第57次は落選、58次、59次は書類だけ送って熱意を表し、60次で再応募。念願の観測隊員に選ばれました。

南極で隊員の治療に従事。夢に向かって挑戦を！

この記事が読まれるときには、昭和基地で隊員の健康管理や治療に従事しています。越冬隊は患者を病院へ搬送できないため、基地内で治療を完結することが必須。不安や緊張のなか、中学生の頃からの夢だった「オーロラを見ること」を楽しみにしつつ、2020年3月までの任務を全うします。在学生の皆さんも、夢に向かって挑戦を！



TEACHER

教えてくれたのはこの人！
石井 潤治 さん

飛行機ショップAO02（あおおに）代表。学生時代に設計製作した人力飛行機は国立科学博物館に永久保存。NHK『超絶凄ワザ！紙ヒコーキ頂上決戦』に出演、飛行機教室も開催している。

紙飛行機を侮るなかれ！

「紙飛行機は子どもの遊び」と思っていませんか？ 確かに、昔も今も子どもが夢中になる遊びには違いないが、紙飛行機と旅客機の飛行原理はほとんど同じ。重心の位置が1ミリでもずれると、飛び方は明らかに変わってしまう。つまり、紙飛行機も上手に作れる人は、飛行機も設計できるのだ。

そこで今回は、宇都宮キャンパスの航空宇宙工学科の学生と教員、そして、沖永佳史学長も参加し、紙飛行機のワークショップを開催。「紙飛行機はシンプルな構造ですが、だからこそ奥が深いのです。たかが紙飛行機、されど紙飛行機」と、笑顔でテーブルに製作道具を並べる石井潤治さんの指南のもと、3チームに分かれて紙飛行機を作り、チームで飛距離を競う紙飛行機レースを行った。結果はいかに!?

GO FARTHER AWAY PAPER AIRPLANE!

WORKSHOP
学生たちがやってみました。
VOL.34

誰よりも遠くへ飛ぶ、紙飛行機を作ろう!

子どもの頃に飛ばしたことがある紙飛行機は、大人も熱中させるほど、奥が深いもの。
宇都宮キャンパスの航空宇宙工学科に在籍する学生と教員が、紙飛行機づくりにチャレンジ!

PHASE 1

MAKE PAPER AIRPLANE.

紙飛行機を作る。

A、B、Cの3チームに分かれ、紙飛行機づくりをスタート。機体のデザインや重要ポイントをメンバー同士で相談しながら、限られた素材と道具を使って、オリジナルの1機を製作!

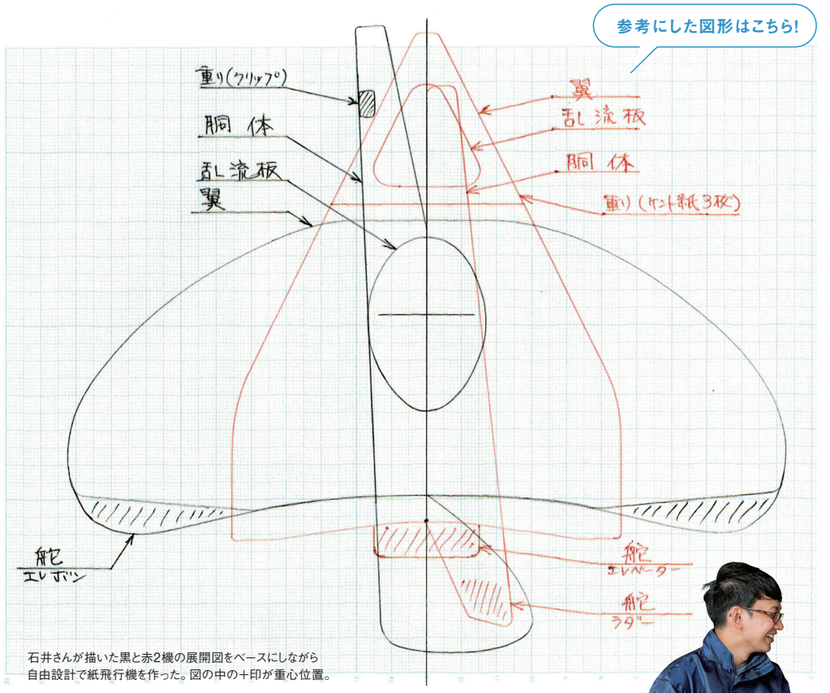
素材はスチレンペーパー。自由な発想で設計!

チーム毎にテーブルを囲む学生と教員。石井さんが描いた展開図をベースにアレンジを加えるなど、自由に設計を行った。ただし、使える材料と道具はスチレンペーパー、ケント紙、ハサミ、定規、ボールペン、接着剤、クリップ（重り）と限られている。「制約があるからこそおもしろい」と平本隆学科長は両端が反り上がった翼を描き、スチレンペーパーにトレースする。宮坂紅羽さんは展開図にとらわれず、ロケット型の紙飛行機を設計し、「ダーツのように投げるだけ」と笑顔。菊池享佑さんは、「展開図より一回り大きな飛機に。重心位置がどう変わるかが問題だけど」と真剣な表情で線を引く。

そう、紙飛行機で大切なのは、重心位置。アレンジは自由だが、重心位置次第で飛行能力が大きく左右されることを忘れてはいけないのだ。



設計とテスト飛行は格納庫で。製作時間は1時間。時折、アドバイスを送り合いながら黙々と設計に打ち込んだ。



石井さんが描いた黒と赤2機の展開図をベースにしながら自由設計で紙飛行機を作った。図の中の＋印が重心位置。

RULE 基本ルール

1. 紙飛行機の作り方についてその場で調べることを禁止します。
2. 運営が提供した道具・材料以外を用いることを禁止します。
3. 飛行機の飛ばし方は「手投げ」のみとします。

TEAM 私たちが挑戦!



A 冲永学長チーム

（左から）菊池享佑さん、冲永佳史学長、髙野翔さん



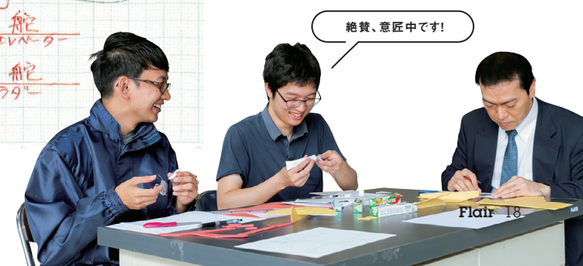
B 平本学科長チーム

（左から）上野桜子さん、平本隆学科長、赤平菜津美さん



C 米田教授チーム

（左から）宮坂紅羽さん、米田洋教授、荻原篤さん



PHASE 2

TEST FLIGHT.

テスト飛行。

航空宇宙工学科といえども設計図だけで完璧な紙飛行機は作れない。テスト飛行と微調整を重ね、飛距離を伸ばす!



2



1

1. テスト飛行を行う米田教授（左）。糸を引くようになめらかに飛び、「凄い!」と歓声が上がった。2. 平本学科長チームの上野桜子さん。3. 最適な投げ方をアドバイスしあいながら探る、冲永学長と菊池さん。

簡単には飛んでくれない! テスト飛行で機体を調整。

機体が完成した人から、テスト飛行を実施した。実際に飛ばしてみると、旋回したり、ストンと落ちたり、思い通りには飛んでくれない。テスト飛行によって修正点を考え、翼の角度や重りの位置など微調整を行った。

遠くへ飛ばすには投げ方も重要だ。石井さんは、「空気の滑り台をスーッと滑るように飛ばしてください」とアドバイス。みんなは自分の飛行機の個性をつかもうと、テスト飛行を繰り返す。チームの学生、荻原篤さんの機体が右に曲がりがちなのを見て米田洋教授は、「重心位置の下を持って、機体が空気に乗っかるように」とアドバイス。冲永学長も、「かなりセンシティブ。難しい」と上着を脱ぎ、本気モードに突入。手放す瞬間の力加減を変えるなど投げ方を試していた。

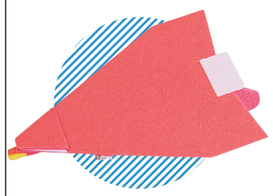


3

FINISH! 完成品はコチラ。↓

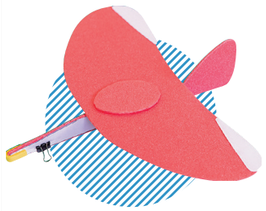
紙飛行機にも性格が出る?

チームメンバーと相談しながら、試行錯誤を繰り返し、紙飛行機をベストな状態に高めていった学生と教員。平本学科長が、「紙飛行機にも性格が出ますね」と笑顔で話していたように、どの機体も個性豊か。各チームでいちばん遠くまで飛んだ紙飛行機を紹介します!



A 冲永学長チーム
髙野さんの飛行機

「基本に忠実に、かつ、自分流のアレンジを加えました」と髙野さん。安定性を重視し、尾翼を下につけたのもポイント。



B 平本学科長チーム
上野さんの飛行機

「特別な工夫もせず、素直に作りました」と、紙飛行機を作ったのは初めての上野さん。クリップを重りにして重心を調整。



C 米田教授チーム
米田教授の飛行機

「オーソドックスに作った、ザ・紙飛行機です」と米田教授。主翼と水平尾翼を備え、「投げ方による失敗も少ない」とのこと。

飛ばしてみよう!







LET'S TRY.

紙飛行機を飛ばす。

さあ、いよいよ紙飛行機レースの開催だ。直前までテスト飛行と微調整を繰り返しながら、自分らしい機体に仕上がってきた。順番に飛ばしていくうちに、会場はヒートアップ!

PHASE 3

個性豊かな飛行に喝采! 交流も深まる紙飛行機。

柔道館に移動し、紙飛行機レースが行われた。各自が作った紙飛行機を1回ずつ飛ばし、チーム3機の飛距離の合計を競う。「緊張する!」という声が聞かれるなか、工夫を凝らした機体が1機、また1機と飛んでいく。その度に、柔道館に歓声がこだました。

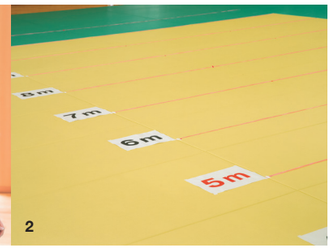
上野さんの機体は、床に着きそうになりながらも再浮上して喝采を浴びた。米田教授チームの荻原さんの機体は天井に当たってため息に包まれたが、宮坂さんのロケットが暫定1位となる記録を出し、さらに米田教授の機体も14m45cmの最長距離を飛んで大喝采。チームに優勝を引き寄せた。

まるで自分が乗って操縦しているかのような紙飛行機。ぜひ、友だちと一緒に飛ばしてみてほしい。技量を競い合いながらも交流が深まるはずだ。

1. レース前、学生たちは柔道場で最後のテスト飛行を行った。持つ位置、投げ方、手を放すタイミングなど、石井さんのアドバイスも熱を帯びる。
2. 柔道場に紙を敷き、飛距離を表示。斜めに飛んでも表示の距離で測定する。
3.「無心で飛ばそう!」と平本学科長チームの赤平さんと上野さん。



3



2



1

LEADER'S COMMENT

チームを代表して教員からのコメント



←沖永佳史学長

チームワークも大切!

テスト飛行ではいい調子でしたが、本番に失速して残念。でも、菊池君と高野君とのチームワークに救われました。(2位／30m41cm)

→平本隆学科長

飛行力学の基本が凝縮!



紙飛行機は飛行力学の基本が凝縮した楽しい遊び。自分で作って飛ばせば理解度がさらに上がるでしょう。(3位／25m54cm)



←米田洋教授

紙飛行機を飛ばすべき!

紙飛行機は本物の飛行機と寸分違わぬ特性を持っています。航空宇宙工学科の学生は紙飛行機を作り、飛ばすべき!(1位／36m52cm)

RESULT 結果発表

1位 C 米田教授チーム

36M

2位 A 沖永学長チーム 30M

3位 B 平本学科長チーム 25M

荻原さん(左)の機体は振るわなかったものの、「子どもの頃から紙飛行機で遊んでいました」と言う宮坂さん(右)のロケットと米田教授(中)の機体が長距離を飛び、見事に優勝!

※メートル数は3人の合計飛距離です。





後編記集

「理工系の学部が多い宇都宮キャンパスを特集するならば、表紙もちょっとSFっぽくしてみよう」と思い立ち、場所探し。『宇宙ミュージアム TenQ』さんのご協力を得て、求めていた絵ができました。モデルはもちろん学生ですが、これまでで最も普段からの変化を感じさせるものになったのではないでしょうか。こんなふうに“変化する”機会も滅多にないと思いますので、表紙のモデルに興味のある方には、ぜひ挑戦してほしいなと思います。ご連絡お待ちしております！

Official Instagram

『Flair』の公式Instagramでは、本誌から一部抜粋して大学の情報を発信しています。また、取材や撮影の裏側などもお伝えします！

FLAIR_TEIKYO_UNIVERSITY

このネームタグをInstagramでスキャンすると、アカウントをフォローすることができます。

@flair_teikyo_university

PRESENT

アンケートに回答した方の中から抽選で豪華プレゼント!

『Flair』へのご意見・ご感想をお待ちしております。アンケートに回答した方の中から、抽選で5名様に「Amazonギフト券 5千円分」をプレゼント！ 詳しくはQRコード先のページをご確認ください。

Flair
vol.113
MARCH 2019 SPRING

制作 Mo-Green
発行 TEIKYO UNIVERSITY
cover photo: Kenji Nakata

Award

第1回帝京大学研究交流シンポジウムを開催。

2018年12月25日、板橋キャンパスにて帝京大学が有する貴重な研究シーズとニーズの価値を高め、その知見をさまざまな社会問題の解決に活用することを目的とする全キャンパス合同研究交流シンポジウムを開催した。

今回のシンポジウムは本学創立以来初の取り組みであり、第1部のパネルディスカッションでは、冲永佳史学長からキャンパスや学部を越えた連携への期待が熱く述べられた。第2部のポスター発表では、260件の研究シーズが発表され、参加者総数500人を超える一大イベントとなった。創設が検討されている「先端総合研究機構(仮称)」の活動の端緒としても有意義なシンポジウムとなった。



News

「帝京大学みらい創造募金」のお願い。

本学では財政基盤の強化を図り、学生支援や教育研究活動等をより一層充実させることを目的として、2017年4月に「帝京大学みらい創造募金」を創設いたしました。皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



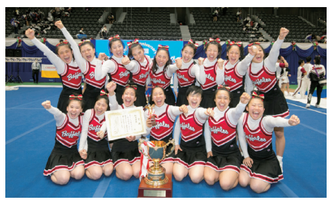
研究・プロジェクト支援〈コアラを菌から救え〉

インターネットからご寄付いただけます。

News

「チアリーディング部」が全日本学生選手権大会で二連覇を達成。

2018年12月15日～16日、八王子キャンパスの「チアリーディング部（バッファローズ）」が、高崎アリーナ（群馬県高崎市）にて行われた第30回全日本学生選手権大会で総合優勝し、創部初の二連覇を果たした。



Backnumber


Flair108
働くってなんだろう?


Flair109
新生活を楽しむためのヒント。


Flair110
今年の夏、どうする?


Flair111
出動!
テイキョー探検隊。


Flair112
まるごと大学祭。

バックナンバーは大学HPよりご覧いただけます。



Report

帝京大学が国内私立大学1位。「THE世界大学ランキング」編集長が本学に。

昨年、「THE世界大学ランキング2019」で、帝京大学が日本国内の私立大学で第1位にランクインしたことが大きな話題になった。「THE世界大学ランキング」はイギリスの高等教育専門誌『THE(Times Higher Education)』が毎年発表。「教育」「研究」「研究の影響力（被引用論文）」「国際性」「産業界からの収入」の5項目で独自リサーチを行い、点数化して合計値で順位付けをする国際的にもっとも影響力がある調査といわれている。

世界に約18,000ある大学の中でエントリーした大学が調査対象になるのだが、帝京大学は昨年初エントリー。86カ国約1,250の大学の中で「401-500位」にランクインした。日本の大学のトップは42位の東京大学、2番は65位の京都大学、以下国公大学が続き、帝京大学は国内の大学103校のうち7番目、私立大学では1位となった。

この結果を受けて昨年末、『THE』編集長のフィル・ベイティ氏が来日、帝京大学の実力に興味を持ち冲永佳史学長を訪問した。帝京大学が高スコアを獲得したのは、「被引用論文数の多さが決め手になった」と、ベイティ氏は解説。特に医学・科学の被引用論文数が多かったと高評価。だが、一方で人文科学・社会科学系の被引用論文数が少ないことを指摘した。また冲永学長からは、今後の帝京大学の知名度の向上と国際競争力の強化という課題へのアドバイスを求めた。二人の会話は熱を帯び、活発な意見交換は1時間にも及んだ。







発行月：2019年3月（年4回発行） 発行：帝京大学本部広報課
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
URL：http://www.teikyo-u.ac.jp
©帝京大学 2019 禁・無断転載